

会長
あいさつ

2p

学校長
あいさつ

2p

幹事会
意見交換会

3p

同窓生
からのお便り

4p



令和4年度号

令和4年12月3日

文化学園大学保育専門学校

飛翔会だより

文化学園大学保育専門学校飛翔会事務局

E-mail : hishokai@gakuen-nagano.ac.jp

TEL026-227-2090 FAX026-224-2200

幹事さん
からのお便り

幹事さんから近況を
お寄せいただきました。

4・5p

学校生活
の近況報告

5・6p

事務局より
お知らせ

8p

つぐみ祭
(文化祭)を訪れて

7p

役員紹介

令和4年度より、
会計1名が改選されまし
たので、ご紹介いたします。

7p

会長あいさつ

飛翔会 会長
中島 智子



飛翔会会員の皆様方、お変わりございませんか。季節は移り変わっておりますが、社会情勢は相変わらず予断を許さない状況です。しかし、そのような中、本年度は第1回幹事会を開催することができました。幹事さん方にお会いするのは3年ぶりとなりましたが、お元気そうな皆さんの姿に「ほっ」としました。

また、母校の学校名も「文化学園長野保育専門学校」から「文化学園大学保育専門学校」に変わり、そのタイミングで、守秀子学校長の就任となりました。その学校長のあいさつの中で、令和6年度から、男子学生を受け入れるとのお話がありました。母校が新時代を見据え、進化し続けている状況を間近で感じ取ることが出来、自分の置かれている立場に感謝したい思いです。



飛翔会活動も少しずつではありますが、可能な限り活動を続けていきます。本年度の幹事会は、久しぶりの顔合わせとなりましたので、グループに分かれ、近況報告や仕事上の悩みなど、短時間ではあります

が、様々な意見交換ができました。コロナ禍でなければ、もう少し時間が欲しいところでした。また、本年度は三役のうち会計担当1名が、新たなメンバーに変わりました。今までの会計さん同様、大いに力を発揮してくれることと思います。

これからも飛翔会は、卒業生の心の拠り所となるよう、母校の様子を中心に発信していく予定です。さらに、学生たちには、少しでも多くの学びや体験が出来るように、同窓生として出来ることをしていきたいと考えています。母校と一緒に飛翔会も進化し続けたいと考えているところです。

学校長あいさつ

学校長
守 秀子



平素より、本校のために多大なご支援をいただき、ありがとうございます。

今年度より、学校長に就任いたしました守秀子と申します。よろしく願い申し上げます。

私が本校の教壇に初めて立ったのは28年前のことで、発達心理学と教育心理学の2科目を担当していました。覚えていてくださる卒業生の方がいらっしゃれば嬉しいです。数々の偉業を達成してこられた鳥海前校長の後任としては甚だ力不足ではありますが、厳しい社会情勢の中、本校の保育者養成校としての社会的使命をしっかりと果たせるよう尽力して参りますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、本校は今年度より、校名を「文化学園大学保育専門学校」と改め、新たなスタートを切りました。多様化し続ける21世紀社会に対応したこれからの保育者を育成するためには、国際的・学際的な教育研究活動を展開する文化学園大学とのさらなる連携強化が重要であると考えてのことです。

もう一つご報告があります。この度「令和6年度入学より男子学生の入学を許可する」ことを決定いたしました。社会の実情を考えれば、遅きに失した感はありませんが、受け入れ態勢も整い、募集を開始する運びとなりました。これまで北信地域では、男性保育者を輩出する養成校は限られており、他地域で就学せざるを得なかった人も多かったことから、この決定は、本校の地域社会へのさらなる貢献につながるものと考えています。また、当然本校の背負う社会的使命はさらに大きくなるという覚悟も決めています。

かねてより本校は、充実した講師陣をそろえ質の高い教育を提供するとともに、保育者としての資質向上教育のために様々な方向から力を注いで参りました。その過程で、飛翔会という存在がどれ程大きな力となって学校を支え続けてくださってきたかは、はかり知れません。学生の実践力育成のため、昨年度は模擬保育室を作りました。また、提携園のご協力のもと、リモート保育の試みなどもおこないました。このような事が実現できたのも、ひとえに飛翔会のご支援のおかげです。

私ども教職員一同、これからも優れた保育者育成のために全力を注ぐ所存でおりますので、今後とも、ぜひ皆様のお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

幹事会意見交換会

令和4年7月16日(土)

- ① グループ参加者 小林いそ子さん(保育6)、竹内栄子さん(保育6)、小山欣恵さん(保育14)、小林さとみさん(保育11)、中島智子会長(保育10、介護4)

テーマは特に決めずにフリートーク

- ・退職後再び現場に戻ったが、一旦離れると命を預かるという仕事に不安や怖さを感じている。
- ・コロナ禍において、消毒などやることが多くなり大変になった。
- ・最近では、どの保育園に入園できるのか、決め方が難しくなっている。
- ・保育者になっても、長続きせず早く辞めてしまう人が多くなった。園児たちの保護者への対応などで悩んでいるようだ。対応力や適応力が求められる。保育者の適性も大事な要素である。
- ・園児の些細なケガへのクレームも多い。昔なら気にしないようなキズにもクレームがくる。
- ・学生の実習記録も昔とはだいぶ変わり、易しくなったように感じる。
- ・長野保育専門学校時代には、徳武先生という女性の先生がいらして、とても厳しくて印象に残っている。

- ② グループ参加者 北村見栄さん(保育15)、中村史子さん(保育16)、桑原てるみさん(保育17)、徳永達子さん(保育14・介護1)、小林夏代副会長(保育10)

テーマ「働く中で、感じること」

- ・家庭環境の変動に伴い仕事をしている。
- ・現場は、人手不足である。(保育の質はなかなか変えられない)
- ・教え子が、保育園に会いに来てくれるとうれしい。
- ・学生時代にミュージカルを観たり、経験したことが、後になって生きてきている。
- ・保育現場では、人手不足もあり、話し合う時間が足りない。本来ならば、対話しながら進めることが大事だが。



また、指導ではなく、共有しながら共にやっていくことを大事にしている。考え方の違いによって、一斉にやりたがる人もいるが、個に合わせる人もいる。

- ・早朝保育を7時30分から行っているが、朝食を食べてこない子やパンを持ってくる子など、食事面で課題もある。
- ・介護現場で10年働き、そのおかげで老親を介護する際に、日常的に役立っている。
- ・孫を通し、園の様子を知る機会を得ている。4名の男性職員が居り、社会情勢も変わってきているのだと知った。
- ・母校が男子学生を受け入れることに対して、社会情勢に合わせていくことは大事なことだと感じる。
- ・行事は、遊びの中での延長として計画している。
- ・コロナ禍での行事は、分散で行うとしてもやれるだけ良いと思う。

- ③ グループ参加者 碓井輝子さん(保育18)、藤森美幸さん(保育18)、萩原広美さん(保育22)、花形綾子さん(保育22)、小山由果会計幹事(保育36・介護10)

テーマ「コロナ」

- ・コロナ禍では、園での食事は黙食で、先生は一緒に食べない。自分が食事をするときは、主任の先生にみてもらって違う場所で食べる(どうなんだろうと思うけど仕方がない)。未満児は、口の動



きや口の動かし方をみるなど、成長過程を知るうえで大切なことなのに。

- ・マスクが当たり前だが、顔がよくわからない。
- ・一番コロナがひどかった時は、プールは禁止。水遊びと泥遊びのみだった。
- ・参観日は室内では行えなかった。外で、大人も一緒に水遊びをした。
- ・私的な時間の外出も、どこに目があるかわからないから、出かけられない。
- ・できないことが増えているが、その中でできることをしよう。

④ グループ参加者 西澤恵利子さん(保育23)、北田玲子さん(保育23)、南澤咲香さん(保育53)、元田彩絵さん(保育53)、横尾安希乃会計幹事(保育45)

テーマ「保育現場の変化」(平成3年度と令和3年度の卒業生が偶然同じグループになった)

- ・今は亡き父に「手に職をつけた方がいい」と言われ、資格を取るようになったことが発端。今は現場を離れているが、その分、保護者の対応は大変

だと思う。縁があれば、もう一度現場に戻りたいと思っている。

- ・今は、預かり保育が多く大変だ。
- ・今は、園児に薬をあげる際、担任があげないんだね。
- ・お弁当の日も少なくなって、保護者の方の負担が少なくなっているようだ。

グループの平成3年度生から令和3年度生へ

- ・4月、5月、6月の3か月頑張っているんだね。
- ・園長、主任の先生が尊敬できる存在だと大きいね。
- ・事務の仕事をしている場合は、自分対機械。でも、自分対子どもは、反応が返ってくるとうれしいよね。



同窓生からのお便り

保育科1期生の方から、御礼のお便りをいただきました。「飛翔会」という名を決めたり、規約を作ったりと、会の立ち上げの際のご苦労や思い出を綴ってくださいました。そして、現在もそのバトンが受け継がれていることに感謝の言葉を頂戴致しました。

このお便りを受け取った時、言葉には表しきれない

感動を覚えました。何もないところからスタートさせるということは、本当に大変なことばかりです。1期生の皆様方のご苦労があって現在の飛翔会があります。いつも見守って下さり、こちらの方こそ感謝の気持ちでいっぱいです。そして大きな励みになりました。ありがとうございました。(会長 中島)

幹事さんからのお便り

現在、幹事をしていただいている方々から、お便りを頂戴しましたのでご紹介します。お忙しいところありがとうございました。

保育科 14期生 江口 加代子(旧姓 宮澤)

皆様お元気でお過ごしでしょうか。文章を書くのは苦手で、今日初めて思い切って投稿させていただきます。

私事ですが、保専を卒業後は地元の保育園で4年間嘱託保育士として働かせて頂きました。出産を機に退職、その後は地元の企業に就職をして35年が経ち、この7月に何とか無事に定年を迎える事ができました。その間、

山あり谷ありいろいろな事がありましたが、最近つくづく思う事はコロナや戦争、災害について考える時今の生活は決してあたり前ではないのだという事。世界が平和である事を祈りつつ日々の生活に感謝してこれからも過ごしていきたいと思います。

PS 卒業の時に鳥海先生から頂いた言葉

「誠意と熱意」そして「他人には大きめのマス、自分には小さめのマス」の言葉は、その後の人生で常に忘れられない教訓になっています。友がいて先生がいて、濃い2年間を過ごさせていただき人生の宝物です。ありがとうございました。

保育科 49期生 湯本 紗弓

匿名 愛犬こはくLOVE

保育士5年目となり、専門学校を卒業してからの時の経過に驚いています。

子どもたちと楽しく過ごす中で、時には日々の保育でもっと工夫できることはないかと考えるときもありますが、浮かんだアイデアを実践して、やってみて良かった、と結果を得られることにやりがいも感じています。

今、1, 2歳児のクラスの担任をさせて頂いています。子どもが簡単な身の回りのことなど自分でできるようになり、嬉しそうな表情を見せてくれる姿がとても微笑ましいです。

コロナ禍でいろいろ大変ですが、これからも子どもたちの成長を応援できるように頑張りたいです。

職場に同じ文大出身で1つ上の先輩が2名いて仲良くしているのでとても心強いです。(プライベートでも食事へ行きお互い本音で話したり、励ましあえるから・・・)

勤め先が、稲荷山の医療センターで重症身体障がい者、児を対象としている為、腰にコルセットをつけたり、身体への負担は大きくきついです。学生の頃から希望をしていた所だったので頑張っています。

また、文大で過ごした時のことを思い出し、ピアノ、心理学、ミュージカル etc 先生方やクラスメイトとの関りが今でも励みとなっています。

最近はコロナ対策、急な豪雨で様々大変ですが、優しい気持ち、自身の信念を大切に乗り切っていきたいと思います。

学校生活の近況報告

保育科主任 倉科 深陽

飛翔会員の皆様には平素より母校をご支援いただき、誠にありがとうございます。

さて、今年度、2年生27名、1年生25名でスタートいたしました。ここ数年、大学、短大、専門学校を卒業後、新たに保育者の道を目指す方の入学も増えております。歳の違う仲間と一緒に学び合う環境も、自然な形となってきました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止により、昨年までは学生の学校生活にも影響がありました。授業は対面での授業ができたものの、行事は縮小または中止になるなど制限されることも多くありました。コロナ前のやり方に戻すのではなく、できる範囲での新たな方法を考え、今年度4月の入学式から始まり、オリエンテーションやフレッシュマンセミナー、5月には2年生によるピアノ発表会も保護者の皆さまに公開することができました。学生各自が弾いてみたいさまざまなジャンルの曲を、独奏または連弾で演奏しました。学生たちは日頃の授業では基礎となるクラシックを学んでいますが、この発表会ではディズニーやスタジオジブリ、J-POPなど流行の曲に挑戦する学生も多く、賑やかな発表会となりました。学生たちは練習の成果を皆様に見ていただこうと、この日のために一生懸命練習し、心を込めて演奏しました。



また、本実習では急な日程の変更もありましたが、2年生は8月の実習を最後に、2年間におこなわれる全ての実習を終えることができました。コロナ禍でありますので、現場での学びができたことは本当に有難いことで、お引き受けいただいた園や施設様、現場の先生方には大変お世話になりました。感謝申し上げます。

1年生は7月に5日間の保育体験実習をおこないました。現場での数日間の実習でありましたが、子どもの姿や先生方の姿を目の前で見て、感じて、教えていただきながら動いて、全てが初めての経験でした。この5日間はこれからの学びに大きく関わる貴重

な学びであったと思います。

実習中、学生たちは、本校卒業の先輩の先生方に声をかけていただいたり、ご指導いただけることで緊張や不安も和らぎ、実習をやりきる活力源をいただいています。私たち教員も実習園訪問時には卒業生に会えるチャンスでもあり、活躍されている姿を見ると大変嬉しく、誇らしい気持ちになります。これからも後輩たちを支えていただきたく、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

そして、1月には2年間のまとめとなる卒業研究発表会があります。昨年度より新たな形での卒業研究

がおこなわれ、今年度もテーマごとのグループ研究をしています。

今年は「総合パフォーマンス」「創作劇」「ままごとについて」「フェルト絵本と手作り知育玩具」「モンテッソーリ教育について」「様々な園の環境による子どもの姿」「子どもの絵の発達過程について」「おすすめ物語作成」の8のグループに分かれ、進めています。昨年は園にお伺いし、実際に子どもたちの前で発表をおこなったグループもあり、その様子から見てきたことも取り入れ、卒業研究発表会ではより内容の濃い発表となりました。

<昨年度の発表より>



もう一つご紹介させていただきたいことがあります。昨年度、すみれ会館の一室に可愛らしい保育室が誕生しました。飛翔会様からもご支援をいただき、すみれ会館に模擬保育室を新設しました。保育の実践的な学びや保育者としての意図的な学び、子どもの主体的な学びが深められるよう、学生自身が現場で感じてきたことを通して、模擬保育室での学びを大切にしていきたいと思ひます。

最後になりますが、昨年の卒業生29名はおかげ様で全員が希望する専門職に就くことができました。今年度もそれぞれの希望する形で専門職に就くことができるよう、学生指導並びに学生の支援をしていきたいと思ひます。

今後ともどうぞ後輩たちを温かく見守ってくださいますようお願い申し上げます。



つぐみ祭（文化祭）を訪れて

九月初旬、学生会の皆さんからつぐみ祭のご案内をいただきました。今年はやっと開催できるようになったと伺い、本当に嬉しくなりました。その思いは学生の皆さんだけでなく、教職員の皆様方も同じ思いではないかと思いました。当日の様々な体験コーナーの様子や、学生一人ひとりが、気持ちを込めて仕上げた展示品など、感想を含めご紹介したいと思います。コロナの影響がある中でも、たくさんの子供たちが、ご家族と一緒に体験をしている姿を見ると、思わず口元がほころびます。

また、体験コーナーで、学生たちが子供たちに優しく

接している姿には、「いつの時代も変わらないなあ」「先輩たちから受け継がれてきているなあ」と感じました。

各コーナーで、子供たちの声や明るい笑顔が溢れ、それを間近で見ている私も高揚感で満たされました。また、懐かしい先生方や同窓生にも会え、充実した楽しいひと時を過ごすことができました。これからも、きっと困難なことは起こるかもしれませんが、母校の後輩たちはきっと乗り越えてくれそうな気がして、明るい気分のまま帰路につきました。(中島)



アイスクリームやさん



さかなつり



しゃてき



おいしゃさん



ヨーヨーつり



役員紹介



飛翔会 会計幹事
保育科 36期生
介護福祉専攻科 9期生
小山 由果

今年から飛翔会の会計をつとめさせていただきます小山由果と申します。

私が専門学校を卒業したのは2005年で今から17年前になります。今は、保育とは全く違った職種で働いておりますが、娘が保育園に通っておりその保育園は偶然にも

私が学生時代に実習させていただいた保育園でした。ありがたい事に私の事を覚えていてくれた当時の先生もいてとても嬉しかったです。実習させていただいた園で今度は保護者としてまた関わられて、縁って素敵だなと感じました。

会計の事も中島会長から久しぶりに連絡をいただき、これも何かの縁なのかなと思ってお引き受けしました。このような役をつとめる事が初めての経験で、至らない点などあると思いますが、中島会長をはじめとする役員の皆様、そして学校の先生方に教えていただき精一杯つとめて参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

お知らせ



① 飛翔会だよりの閲覧について

今回発行の飛翔会だよりは、ホームページ上からもご覧いただけるようになります。次年度からは、飛翔会だよりの発送を中止しホームページ上のみの掲載となりますので、ご了承ください。なお、紙面でご覧になりたい場合はプリントアウトできます。

② 会費納入について

隔年ごとに、年会費の振込用紙を同封させていただいておりましたが（平成24年度以前入学生のみ）、今後はホームページ上でのお知らせとなります。引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。

飛翔会だよりの感想やご意見もお寄せください。今後の紙面に役立てたいと思います。

幹事さんが不明な卒業期生について

飛翔会は各学科の卒業年度ごとに幹事を決め、その方たちと運営、活動をしています。しかし、残念なことに住所変更や姓の変更に伴い、いつの間にか宛先不明となり、幹事さん不在の年度が出てきてしまいます。一人でも多くの同窓生の皆様方に母校の様子をお知らせし、また、同窓生同士も情報交換できる場として、飛翔会は存在しています。そのためにも、幹事さんは重要な役割であると考えています。自分の卒業年度と照らし合わせ、お心当たりの方はぜひ事務局にご連絡ください。

☆幹事が抜けている期生一覧

- ① 保育 — 9・21・26・34・37・39 期生
- ② 国際 — 1・2・6～10・12～14 期生
- ③ 介護 — 3・5・7～11・13・15～17 期生
- ④ 健康 — すべての期生
- ⑤ 社会 — 1 期生
- ⑥ 高度 — 1 期生

ホームページにて学校の案内・様子など ご覧いただけます

文化学園大学保育専門学校

<https://bga.gakuen-nagano.ac.jp/>

- ★ 学校紹介
- ★ 教職員一覧・担当科目
- ★ 授業シラバス
- ★ 研究紀要
- ★ 同窓会のページなど

文化学園大学
保育専門学校で検索！



令和4年度 飛翔会総会について

飛翔会総会開催

【日時：場所】

令和4年12月3日(土) 午後12時30分
文化学園大学保育専門学校 すみれ会館

- 第1号議案 令和4年度 事業報告
- 第2号議案 令和4年度 決算報告 監査報告
- 第3号議案 令和5年度 事業計画
- 第4号議案 令和5年度 予算案

事務局よりお知らせ・お願い

令和4年4月1日より、校名が「文化学園大学保育専門学校」となりました。

本年度も飛翔会便りが発行され送付いたしました。お名前、住所等連絡先の変更がございましたら是非下記事務局までご連絡をお願いいたします。（ホームページからでもできます）

文化学園大学保育専門学校飛翔会事務局
E-mail : hishokai@gakuen-nagano.ac.jp
TEL026-227-2090 FAX026-224-2200